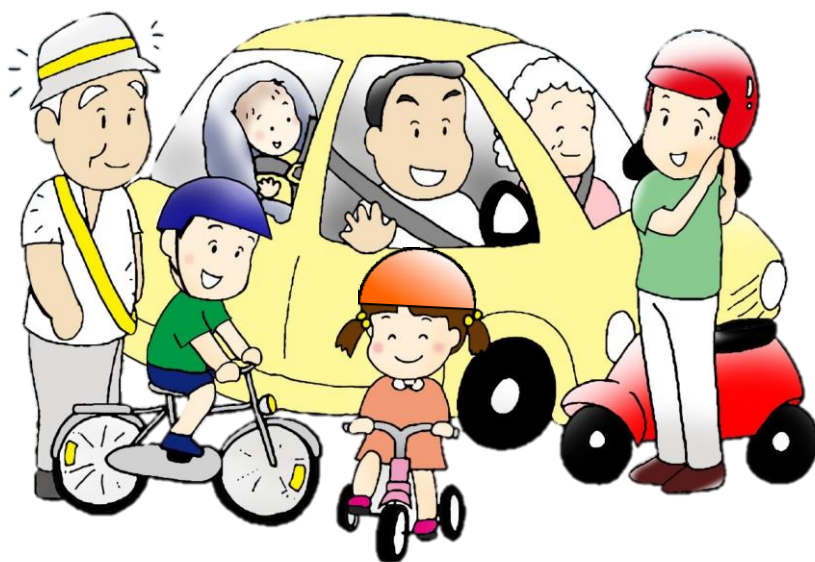


交通安全のために

～令和2年中の交通事故から～



毎月
11日

横断歩道 “SOS” の日
さわやかな 横断でスマイル



横断歩道は歩行者優先!

三重県警察

目次

第1	都道府県別交通事故発生状況	1
第2	交通情勢からみた三重県の位置	2
第3	三重県の交通事故発生状況	3～16
1	交通事故発生状況	3
2	過去10年の年別推移	3
3	市町別	4・5
4	月別	6
5	曜日別	6
6	時間別	7
7	路線別	7
8	地形・道路形状・道路線形別	8
9	事故類型別	9
10	第1当事者の年齢層別	10
11	第1当事者の事故原因別	11
12	第1当事者の職業別	12
13	死傷者の年齢層別	13
14	死傷者の状態別	14
15	シートベルトの着用状況	15
16	ヘルメットの着用状況	16
第4	各種の交通事故	17～25
1	子供の交通事故	17
2	高校生の交通事故	18
3	高齢者の交通事故	
(1)	全体	19
(2)	高齢運転者	20
4	歩行者の交通事故	21
5	自転車の交通事故	22
6	二輪車の交通事故	23
7	若年運転者の交通事故	24
8	飲酒運転の交通事故	25

● 用語の意味 ●

- ★ 交通事故 …… 道路上において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡または負傷を伴うもの(人身事故)及び物損事故をいう。
- ★ 人身事故 …… 人の死傷を伴う交通事故をいう。
- ★ 物損事故 …… 物の損壊のみの交通事故をいう。
- ★ 死亡事故 …… 人身事故のうち、人の死亡を伴う交通事故をいう。
- ★ 死者 …… 交通事故発生後24時間以内に死亡した者をいう。
- ★ 第1当事者 …… 交通事故に関与した人のうち、過失が最も重い者をいい、過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者をいう。
- ★ 構成率 …… 全体(合計)に占める各項目の構成割合をいい、四捨五入してあるので合計と一致しないものもある。
- ★ 致死率 …… $\frac{\text{死者数}}{\text{全死傷者数}} \times 100$ をいう。
- ★ 死傷者率 …… 全死傷者数に占める各種の交通事故(子供・高校生の交通事故等)の死傷者数の構成割合をいう。
- ★ 事故率 …… 全事故に占める各種の交通事故(子供・高校生の交通事故等)の構成割合をいう。
- ★ 事故類型 …… 事故をまず当事者の種類(人又は車両)によって類型化し、次いで当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって更に細かく類型化したもの。
- ★ 状態別 …… 事故当事者の事故当時の状態(自動車運転中、自動車同乗中、歩行中等)をいう。
- ★ 車両等 …… 自動車、二輪車(原付車を含む)、自転車をいう。

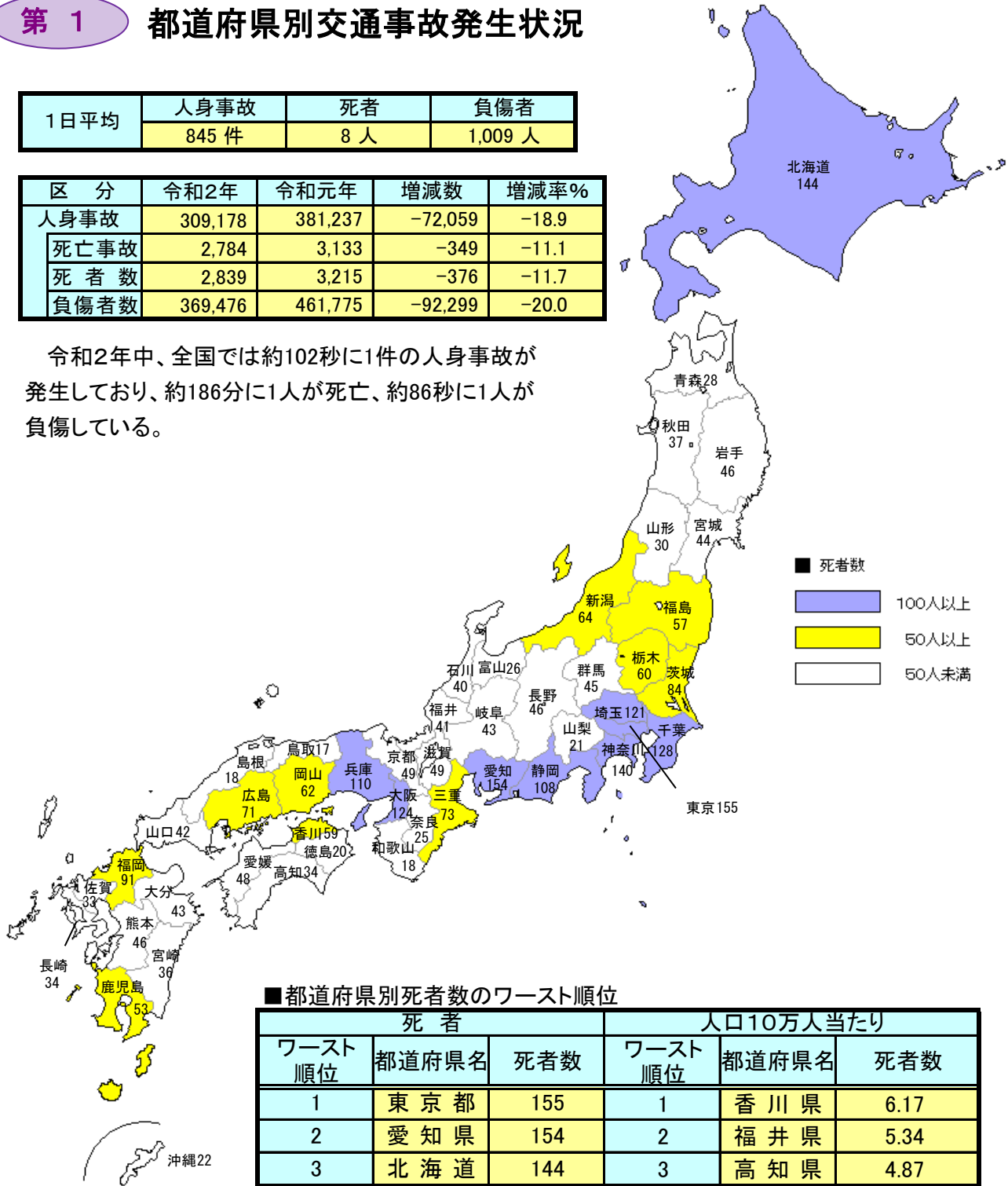
第 1

都道府県別交通事故発生状況

1日平均	人身事故	死者	負傷者
	845 件	8 人	1,009 人

区 分	令和2年	令和元年	増減数	増減率%
人身事故	309,178	381,237	-72,059	-18.9
死亡事故	2,784	3,133	-349	-11.1
死者数	2,839	3,215	-376	-11.7
負傷者数	369,476	461,775	-92,299	-20.0

令和2年中、全国では約102秒に1件の人身事故が発生しており、約186分に1人が死亡、約86秒に1人が負傷している。



■ 都道府県別死者数のワースト順位

死 者			人口10万人当たり		
ワースト順位	都道府県名	死者数	ワースト順位	都道府県名	死者数
1	東京都	155	1	香川県	6.17
2	愛知県	154	2	福井県	5.34
3	北海道	144	3	高知県	4.87
4	神奈川県	140	4	三重県	4.10
5	千葉県	128	5	佐賀県	4.05
6	大阪府	124	6	秋田県	3.83
7	埼玉県	121	7	大分県	3.79
8	兵庫県	110	8	岩手県	3.75
9	静岡県	108	9	愛媛県	3.58
10	福岡県	91	10	石川県	3.51
12	三重県	73	4	三重県	4.10

※人口10万人当たりの死者数は、総務省資料「令和元年10月1日現在推計人口」を使用

第 2

交通情勢から見た三重県の位置

区 分		三 重 県		全 国	備考 (年月日)
			順位		
人 口 (人)		1,781,000	22	126,167,000	令元.10.1
面 積 (km ²)		5,774.49	25	377,976.41	令2.10.1
道路実延長 (km)		25,471.8	22	1,226,489.4	平31.4.1
免 許	人 口 (人)	1,251,754	22	81,989,887	令2.12.31
	保 有 率 (%)	70.28	10	64.99	
	県民1.42に1人の割合		国民1.54に1人の割合		
自 動 車	台 数(原付・小特除く) (台)	1,531,832	21	82,341,762	令元.12.31
	保 有 率 (%) (自動車1台当たり)	86.01 (1.16人)	11	65.26 (1.53人)	
原 付	台 数(1・2種) (台)	105,194	20	6,890,528	令元.7.1
	保 有 率 (%) (原付車1台当たり)	5.91 (16.93人)	20	5.46 (18.31人)	
交 通 事 故	人 身 事 故 件 数	2,966	29	309,178	令2年中 (ワースト順位)
	人口10万人当たり	166.54	38	245.05	
	死 者 数	73	12	2,839	
	人口10万人当たり	4.10	4	2.25	
	免許人口1万人当たり	0.58	5	0.35	
	自動車1万台当たり (原付含む)	0.44	4	0.31	
	道路1000km当たり	2.87	14	2.31	
	1億走行台キロ当たり	0.73	10	0.63	
致 死 率	1.92	7	0.76		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口は、総務省資料の「令和元年10月1日現在推計人口」による。 ・ 面積は、国土地理院資料による。 ・ 道路実延長、自動車台数及び原付台数は、国土交通省資料による。 ・ 免許人口、交通事故(人身事故件数、死者数)及び1億走行台キロは、警察庁資料による。 ・ 人口10万人当たりの算出根拠は、総務省資料の「令和元年10月1日現在推計人口」である。 ・ 致死率は、死者数÷死傷者数×100をいう。 				

第3 三重県の交通事故発生状況

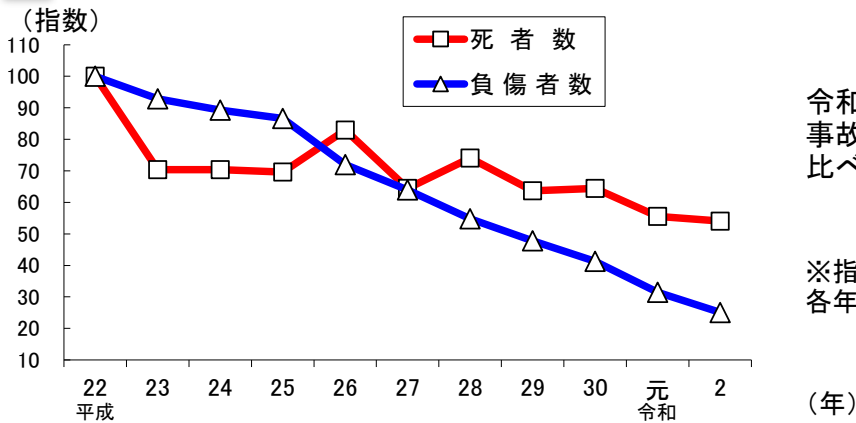
1 交通事故発生状況

区分	人身事故	死者	負傷者
1日平均	8.1件	0.2人	10.2人

区分	令和2年	令和元年	増減数	増減率%
人身事故	2,966	3,647	-681	-18.7
死亡事故	71	74	-3	-4.1
死者数	73	75	-2	-2.7
負傷者数	3,732	4,688	-956	-20.4
物損事故	46,250	53,809	-7,559	-14.0

令和2年中、三重県では、約178分に1件の人身事故が発生しており、約5日に1人が死亡、約141分に1人が負傷している。

2 過去10年の年別推移



令和2年中の三重県内における交通事故死者数は、10年前の平成22年と比べると約45%減少した。

※指数は、平成22年を100とした場合の各年の値である。

項目	人身事故						物損事故	
	発生件数	指数	死者数	指数	負傷者数	指数	発生件数	指数
平成22年	11,275	100	135	100	14,878	100	51,730	100
23年	10,420	92	95	70	13,813	93	52,016	101
24年	10,155	90	95	70	13,287	89	53,487	103
25年	9,804	87	94	70	12,885	87	54,902	106
26年	8,100	72	112	83	10,717	72	54,342	105
27年	7,169	64	87	64	9,517	64	54,505	105
28年	6,038	54	100	74	8,158	55	54,994	106
29年	5,441	48	86	64	7,113	48	56,464	109
30年	4,687	42	87	64	6,136	41	55,885	108
令和元年	3,647	32	75	56	4,688	32	53,809	104
2年	2,966	26	73	54	3,732	25	46,250	89
平成22～令和2年平均	7,246	—	94	—	9,539	—	53,489	—

■三重県警察が設置された昭和29年以降における死者の最高を記録した年の発生状況

昭和46年	9,495	—	352	—	13,243	—	10,293	—
-------	-------	---	-----	---	--------	---	--------	---

■三重県警察が設置された昭和29年以降における死者の最低を記録した年の発生状況

令和2年	2,966	—	73	—	3,732	—	46,250	—
------	-------	---	----	---	-------	---	--------	---

3 市町別

人口10万人以上の6市(桑名市・四日市市・鈴鹿市・津市・松阪市・伊勢市)で、人身事故の約74%(2,198件)が発生している。

- 最多……四日市市 626件 (21.1%)
- 最少……大紀町 3件 (0.1%)

※高速隊分を除く。

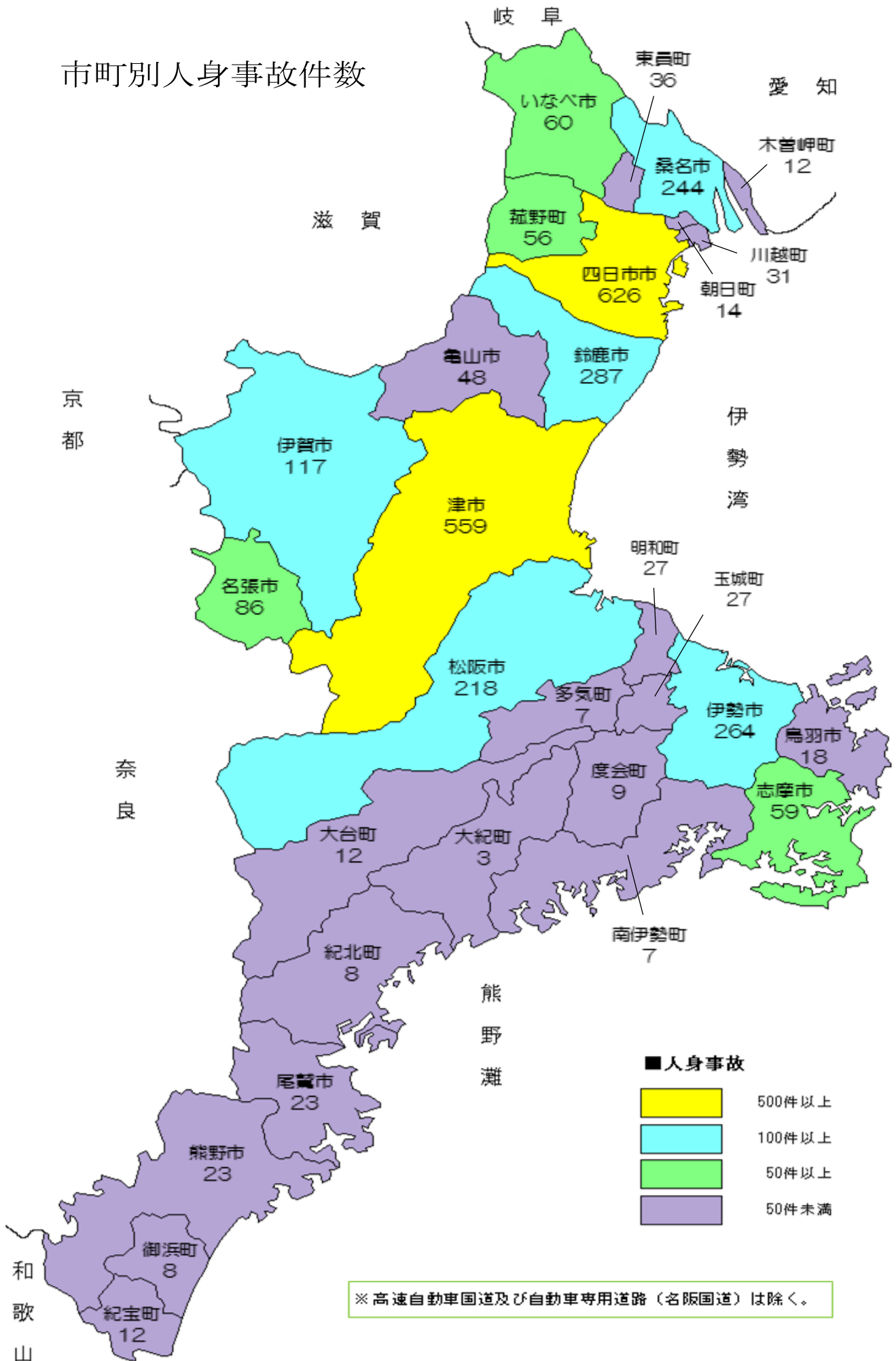
署	市 町	人身事故		
		件数	死者	負傷者
桑名	桑名市	244	0	314
	木曾岬町	12	0	14
いなべ	いなべ市	60	1	68
	東員町	36	1	43
四日市北	四日市市	200	3	249
	朝日町	14	0	17
	川越町	31	0	43
四日市南	四日市市	398	7	480
四日市西	四日市市	28	1	36
	菰野町	56	1	66
(四日市市計)		626	11	765
亀山	亀山市	48	2	63
鈴鹿	鈴鹿市	287	5	328
津南	津市	171	5	227
(津市計)		559	10	715
松阪	松阪市	218	12	271
	多気町	7	0	7
	明和町	27	2	33

署	市 町	人身事故		
		件数	死者	負傷者
大台	大台町	12	2	14
	大紀町	3	0	4
伊勢	伊勢市	264	5	361
	玉城町	27	1	32
	度会町	9	0	13
鳥羽	南伊勢町	7	1	6
	鳥羽市	18	2	27
尾鷲	志摩市	59	3	76
	尾鷲市	23	1	25
熊野	紀北町	8	0	11
	熊野市	22	3	25
紀宝	熊野市	1	0	2
	御浜町	8	0	10
	紀宝町	12	0	17
(熊野市計)		23	3	27
伊賀	伊賀市	109	6	132
名張	名張市	86	0	107
	伊賀市	8	0	12
(伊賀市計)		117	6	144

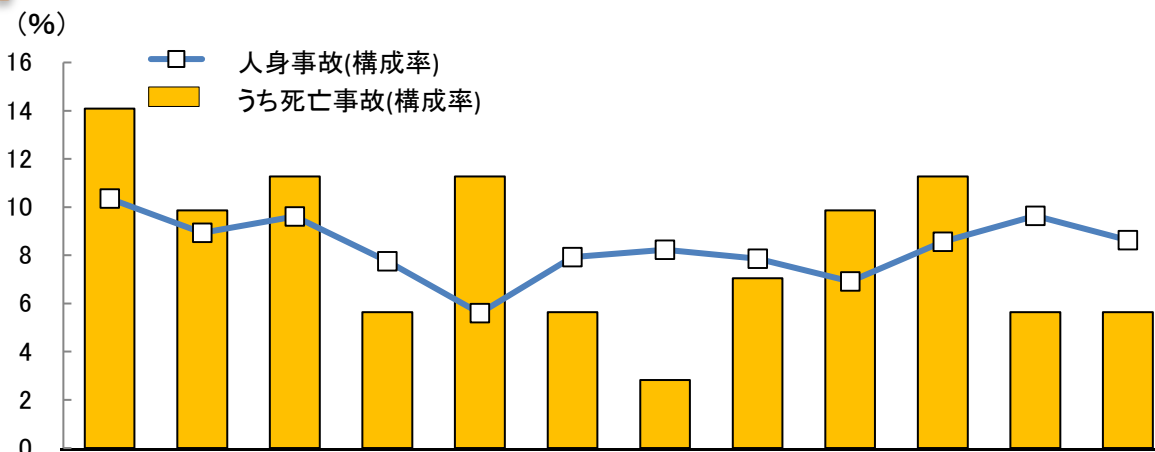
高速隊	65	4	111
-----	----	---	-----

合計	2,966	73	3,732
----	-------	----	-------

市町別人身事故件数

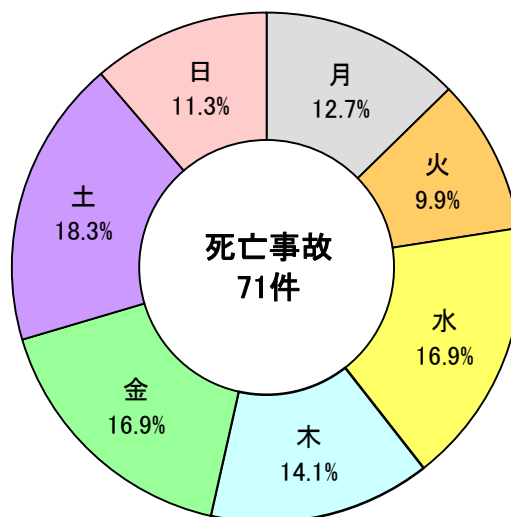
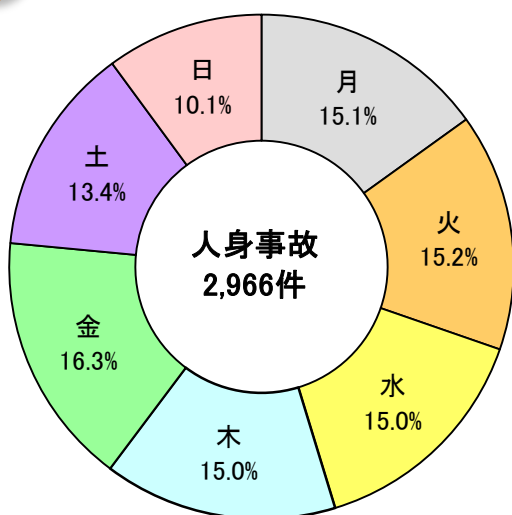


4 月別



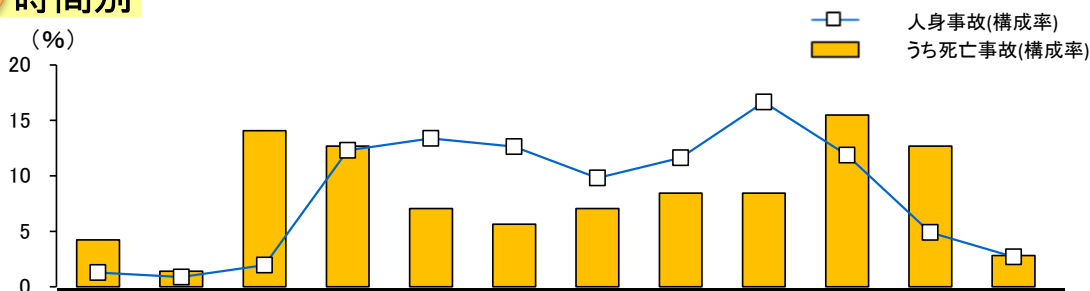
項目 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
人身事故(件)	307	265	285	230	166	235	244	233	205	254	286	256	2,966
構成率	10.4	8.9	9.6	7.8	5.6	7.9	8.2	7.9	6.9	8.6	9.6	8.6	100.0
うち死亡事故(件)	10	7	8	4	8	4	2	5	7	8	4	4	71
構成率	14.1	9.9	11.3	5.6	11.3	5.6	2.8	7.0	9.9	11.3	5.6	5.6	100.0

5 曜日別



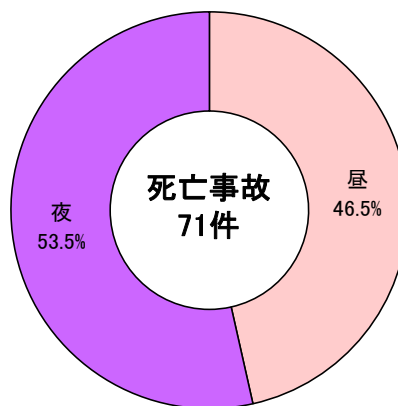
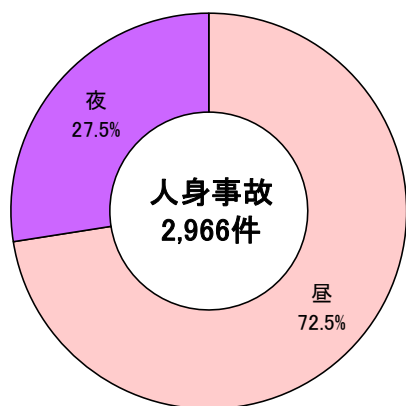
項目 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
人身事故(件)	447	452	444	444	482	398	299	2,966
構成率	15.1	15.2	15.0	15.0	16.3	13.4	10.1	100.0
うち死亡事故(件)	9	7	12	10	12	13	8	71
構成率	12.7	9.9	16.9	14.1	16.9	18.3	11.3	100.0

6 時間別



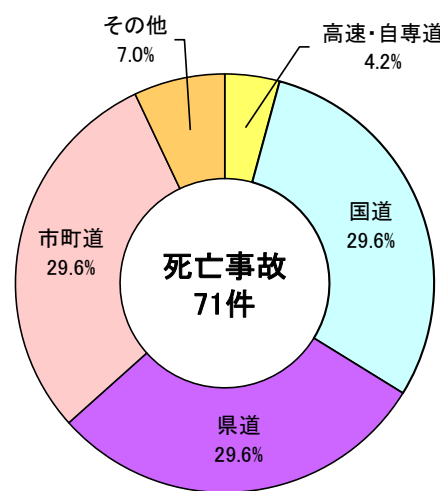
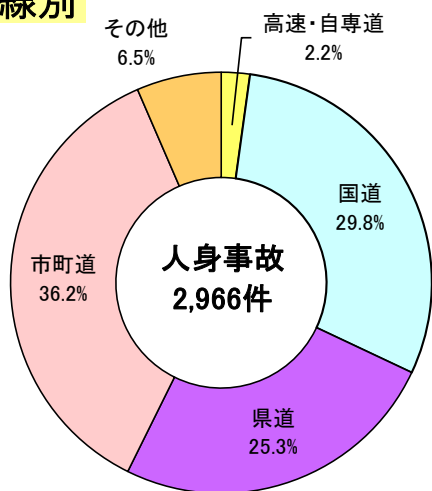
項目	時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
人身事故(件)		38	26	58	365	397	375	291	345	494	352	145	80	2,966
構成率		1.3	0.9	2.0	12.3	13.4	12.6	9.8	11.6	16.7	11.9	4.9	2.7	100.0
うち死亡事故(件)		3	1	10	9	5	4	5	6	6	11	9	2	71
構成率		4.2	1.4	14.1	12.7	7.0	5.6	7.0	8.5	8.5	15.5	12.7	2.8	100.0

☆昼夜別



※昼は日の出から日没までをいう。

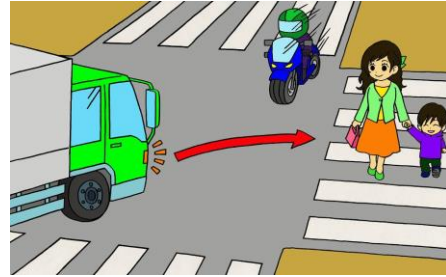
7 路線別



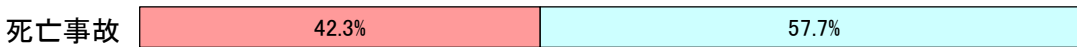
項目	路線	高速	自 専 道			国 道					県 道			市道	町道	その他	合計
			名阪国道	東海環状	小計	1号	23号	42号	他	小計	主要	一般	小計				
人身事故(件)		46	19	0	19	114	356	84	331	885	414	337	751	999	73	193	2,966
構成率		1.6	0.6	0.0	0.6	3.8	12.0	2.8	11.2	29.8	14.0	11.4	25.3	33.7	2.5	6.5	100.0
うち死亡事故(件)		2	1	0	1	3	3	3	12	21	10	11	21	18	3	5	71
構成率		2.8	1.4	0.0	1.4	4.2	4.2	4.2	16.9	29.6	14.1	15.5	29.6	25.4	4.2	7.0	100.0

8 地形・道路形状・道路線形別

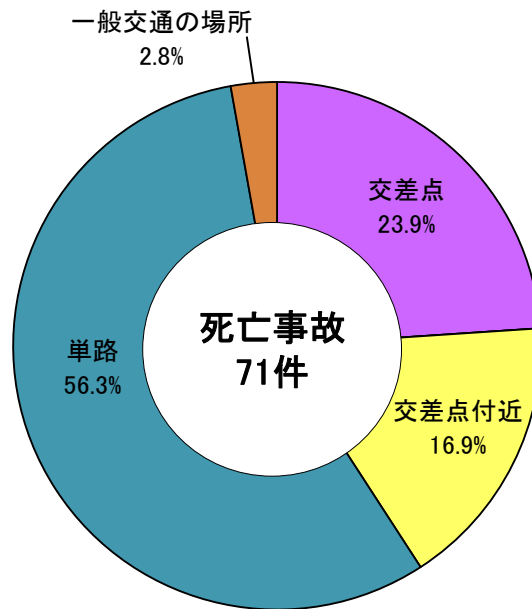
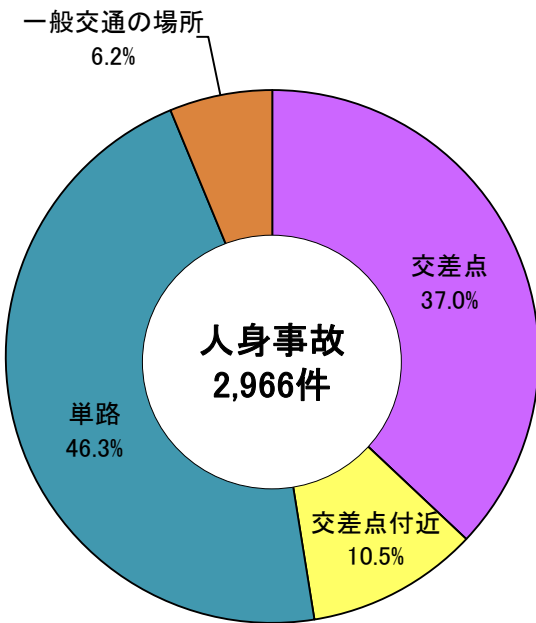
人身事故は市街地、死亡事故は非市街地で多く発生している。人身事故の約47%、死亡事故の約41%は交差点や交差点付近で発生している。



- 交差点では、信号や一時停止規制を守り、左右の安全を確認しましょう。特に、歩行者や自転車の横断に注意しましょう。



※市街地とは、建造物が連立し、またはこれらが混在しており、市街地的形態をなしている地域をいう。



☆道路形状別

区分	環状交差点	交差点	環状交差点 付近	交差点付近	単路	踏切	一般交通の 場所	合計
人身事故(件)	0	1,098	0	310	1,373	0	185	2,966
構成率	0.0	37.0	0.0	10.5	46.3	0.0	6.2	100.0
うち死亡事故(件)	0	17	0	12	40	0	2	71
構成率	0.0	23.9	0.0	16.9	56.3	0.0	2.8	100.0

☆道路線形別

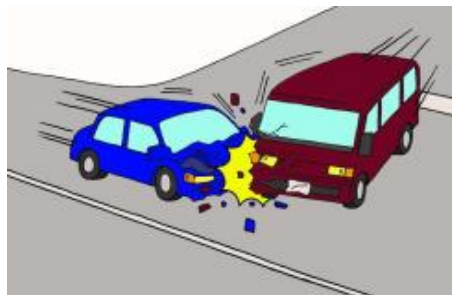
区分	カーブ・右	カーブ・左	直線	その他	合計
人身事故(件)	79	57	2,645	185	2,966
構成率	2.7	1.9	89.2	6.2	100.0
うち死亡事故(件)	12	6	51	2	71
構成率	16.9	8.5	71.8	2.8	100.0

9

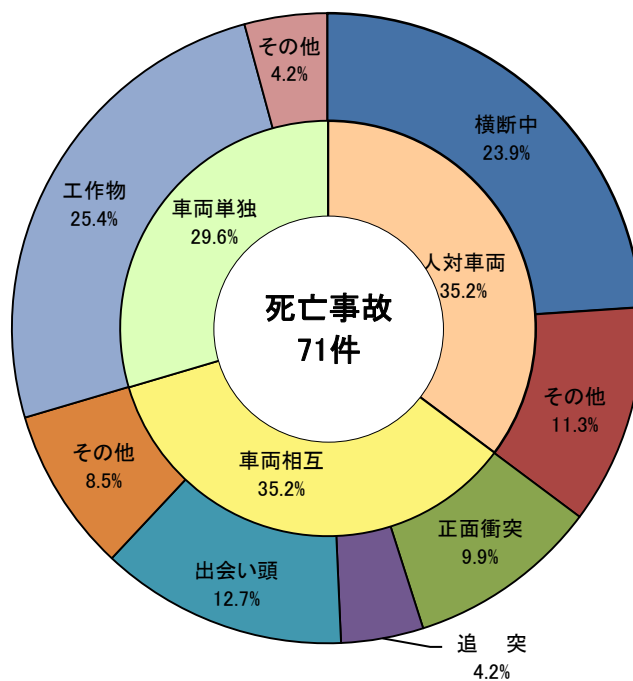
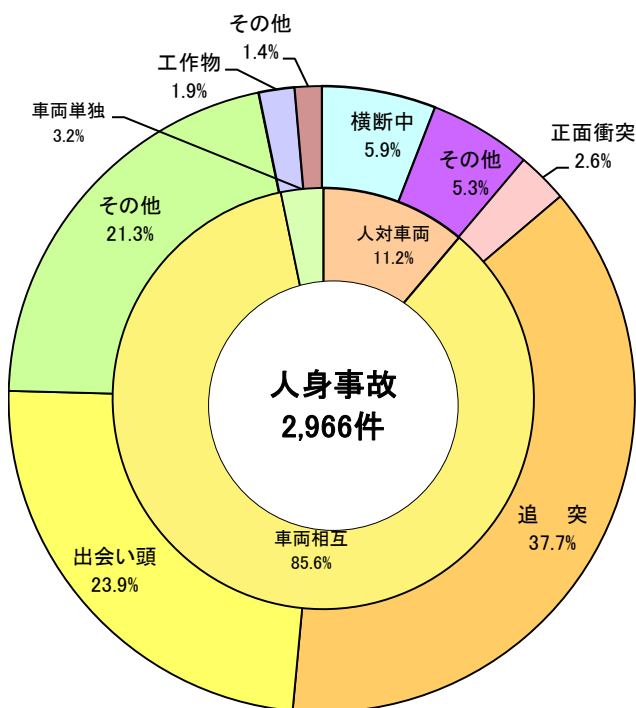
事故類型別

人身事故は、車両相互による追突事故が約38%を占める。

死亡事故は、車両単独による工作物への衝突事故や、人对車両の歩行者の横断中の事故が多い。



●追突事故は、緊張感欠如がもたらす最たる事故です。緊張感を持って、前方をよく見て、安全な速度で運転しましょう。携帯電話等のながら運転は危険です。



区分	人对車両					車両相互					車両単独				列車	合計
	対・背面通行	横断中		その他	小計	正面衝突	追突	出会い頭	その他	小計	工作物	路外逸脱	その他	小計		
		横断歩道	その他													
人身事故(件)	55	91	84	101	331	78	1,118	710	633	2,539	55	6	35	96	0	2,966
構成率	1.9	3.1	2.8	3.4	11.2	2.6	37.7	23.9	21.3	85.6	1.9	0.2	1.2	3.2	0.0	100.0
うち死亡事故(件)	2	1	16	6	25	7	3	9	6	25	18	2	1	21	0	71
構成率	2.8	1.4	22.5	8.5	35.2	9.9	4.2	12.7	8.5	35.2	25.4	2.8	1.4	29.6	0.0	100.0

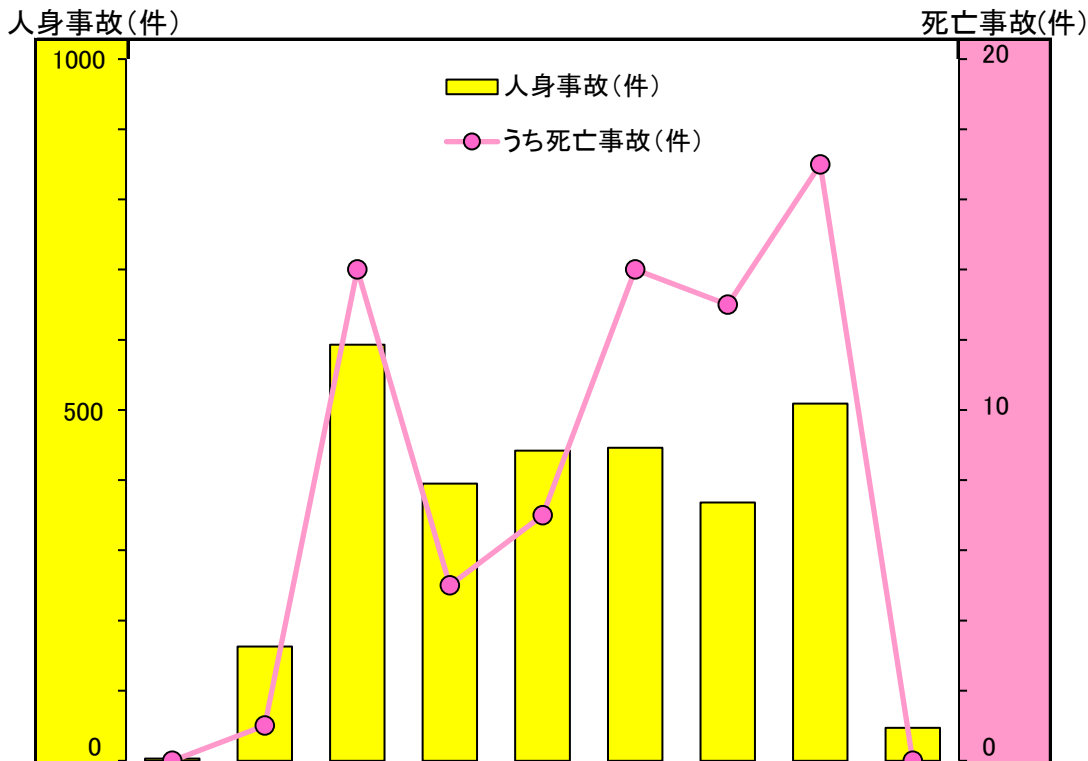
10 第1当事者の年齢層別

人身事故は20～29歳、死亡事故は70歳以上が最も多い。

第1当事者が高齢者である死亡事故が、全死亡事故の約34%を占めている。



●道路を利用する全ての人が交通ルールを守り、お互いに注意して、交通事故を起こさないようにしましょう。



区分	10歳未満	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明	合計	再掲			
											子(中学生以下)供	高校生	若(16歳～24歳)年者(高校生含む)	高(65歳以上)齢者
人身事故(件)	3	163	593	395	442	446	368	509	47	2,966	13	32	486	685
構成率%	0.1	5.5	20.0	13.3	14.9	15.0	12.4	17.2	1.6	100.0	0.4	1.1	16.4	23.1
うち死亡事故(件)	0	1	14	5	7	14	13	17	0	71	0	0	11	24
構成率%	0.0	1.4	19.7	7.0	9.9	19.7	18.3	23.9	0.0	100.0	0.0	0.0	15.5	33.8

11

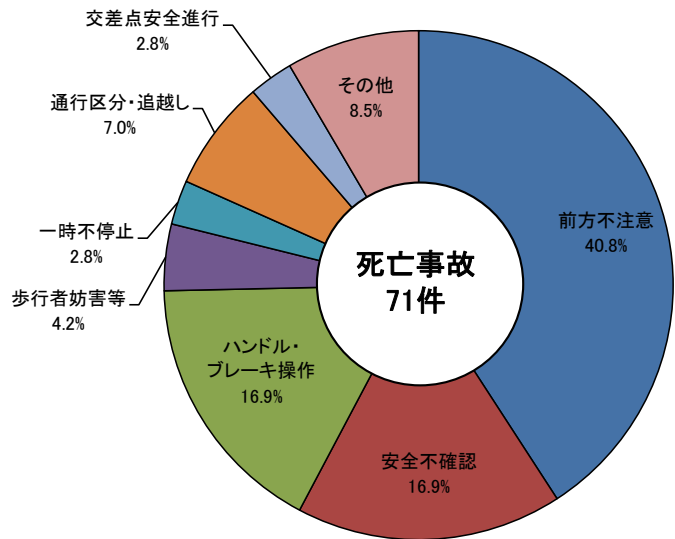
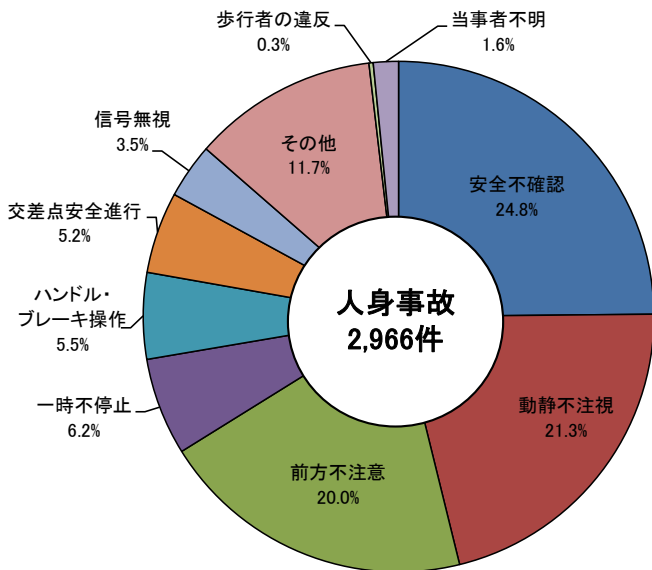
第1当事者の事故原因別

人身事故は、安全不確認、動静不注視、前方不注意による事故が全人身事故の約66%を占めている。

死亡事故は、前方不注意、安全不確認による事故が全死亡事故の約58%を占めている。



- 運転中は、脇見や携帯電話等のながら運転をせず、運転に集中し、常に進路前方や周囲の状況を確認しましょう。
- 自転車や歩行者は、車の動きに注意し、無理な横断などは絶対にやめましょう。



区分	車両等の違反																			歩行者の違反	当事者不明	合計	うち無免許
	信号無視	通行区分・追越し	最高速度	歩行者妨害等	横断自転車妨害等	一時不停止	酒酔い	右左折	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行場所	安全運転義務					その他	調査不能	小計				
												ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他							
人身事故(件)	103	22	1	89	26	183	3	9	36	153	19	162	593	632	737	112	25	6	2,911	8	47	2,966	37
構成率	3.5	0.7	0.0	3.0	0.9	6.2	0.1	0.3	1.2	5.2	0.6	5.5	20.0	21.3	24.8	3.8	0.8	0.2	98.1	0.3	1.6	100.0	1.2
うち死亡事故(件)	0	5	1	3	0	2	0	1	1	2	0	12	29	0	12	2	1	0	71	0	0	71	2
構成率	0.0	7.0	1.4	4.2	0.0	2.8	0.0	1.4	1.4	2.8	0.0	16.9	40.8	0.0	16.9	2.8	1.4	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	2.8

注 うち無免許とは、第1当事者が原付以上であった人身事故又は死亡事故のうち、当該第1当事者が無免許であった事故をいう。

歩行者の違反・・・信号無視、飛出し等

12 第1当事者の職業別

サービス業従事者（その他サービス業）が第1当事者となる事故が、人身事故の約42%を占めている。

●家庭や職場などで交通ルールを守ることの大切さを話し合ひましょう。



			人身事故 (件)	職業別	死亡事故 (件)			
3000	2000	1000				10	20	30
			13	子供	0			
			32	高校生	0			
			53	大学生	3			
			25	その他学生	0			
			153	職業運転者	7			
			89	公務員	0			
			28	農林業	2			
			9	漁業	1			
			1	鉱業	0			
			121	建設業	4			
			178	製造業	3			
			62	卸・小売業	1			
			15	金融保険業	0			
			7	不動産業	0			
			44	運輸・郵便業	2			
			3	通信業	0			
			19	電気・ガス・熱・水道業	0			
			0	学術研究	0			
			49	宿泊・飲食業	1			
			39	生活関連サービス	2			
			27	教育・学習支援業	0			
			133	医療・福祉	4			
			6	複合サービス業	0			
			1,256	その他サービス業	21			
			2	分類不能の産業	0			
			98	主婦	2			
			452	無職	18			
			1	外国人	0			
			51	その他	0			
			2,966	合計	71			

区分	子供	高校生	大学生	その他学生	職業運転者	公務員	農林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	卸・小売業	金融保険業	不動産業	運輸・郵便業
人身事故(件)	13	32	53	25	153	89	28	9	1	121	178	62	15	7	44
構成率	0.4	1.1	1.8	0.8	5.2	3.0	0.9	0.3	0.0	4.1	6.0	2.1	0.5	0.2	1.5
うち死亡事故(件)	0	0	3	0	7	0	2	1	0	4	3	1	0	0	2
構成率	0.0	0.0	4.2	0.0	9.9	0.0	2.8	1.4	0.0	5.6	4.2	1.4	0.0	0.0	2.8

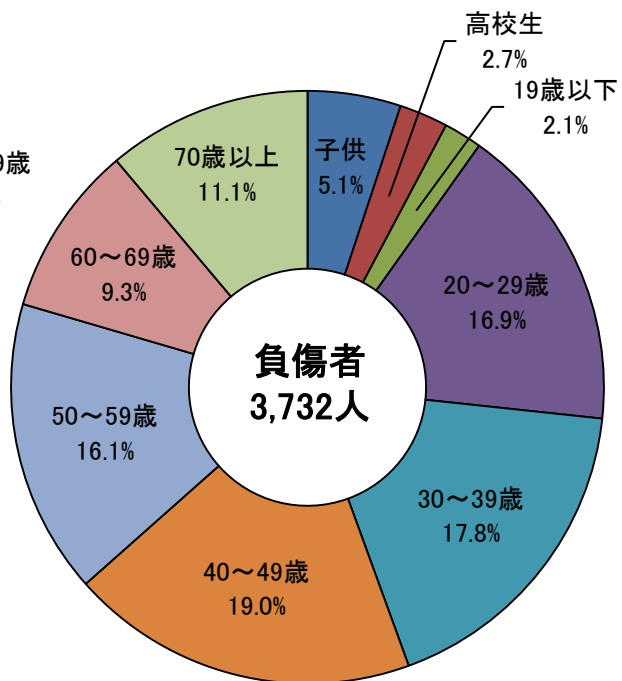
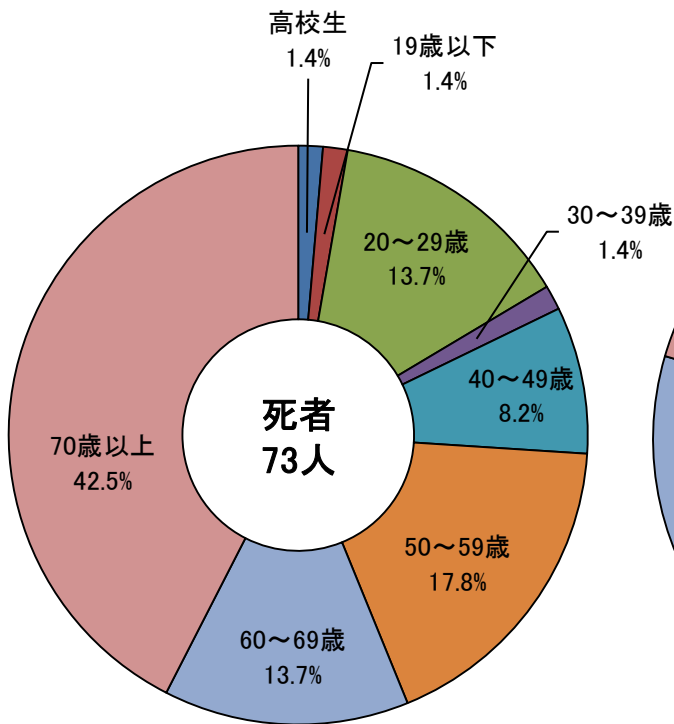
区分	通信業	水道・電気・ガス・熱	学術研究	宿泊・飲食業	生活関連サービス	教育・学習支援業	医療・福祉	複合サービス業	その他サービス業	分類不能の産業	主婦	無職	外国人	その他	合計
人身事故(件)	3	19	0	49	39	27	133	6	1,256	2	98	452	1	51	2,966
構成率	0.1	0.6	0.0	1.7	1.3	0.9	4.5	0.2	42.3	0.1	3.3	15.2	0.0	1.7	100.0
うち死亡事故(件)	0	0	0	1	2	0	4	0	21	0	2	18	0	0	71
構成率	0.0	0.0	0.0	1.4	2.8	0.0	5.6	0.0	29.6	0.0	2.8	25.4	0.0	0.0	100.0

13 死傷者の年齢層別

65歳以上の高齢者の死者が、全死者の約53%を占めている。



- 体力が落ちた、物が見にくくなったと感じることはありませんか？
- 思いやりの気持ちを持って、ゆとりのある運転に努めましょう。



区分	子供	高校生	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
死者数	0	1	1	10	1	6	13	10	31	73
構成率	0.0	1.4	1.4	13.7	1.4	8.2	17.8	13.7	42.5	100.0
負傷者数	190	99	78	629	663	709	600	348	416	3,732
構成率	5.1	2.7	2.1	16.9	17.8	19.0	16.1	9.3	11.1	100.0

再掲	
若年者 (16～24歳)	高齢者 (65歳以上)
8	39
11.0	53.4
461	574
12.4	15.4

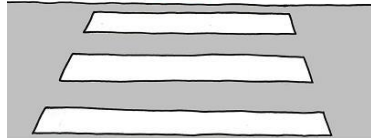
※子供は、中学生以下をいい、年齢区分は、子供と高校生を除いた人数をいう。

14

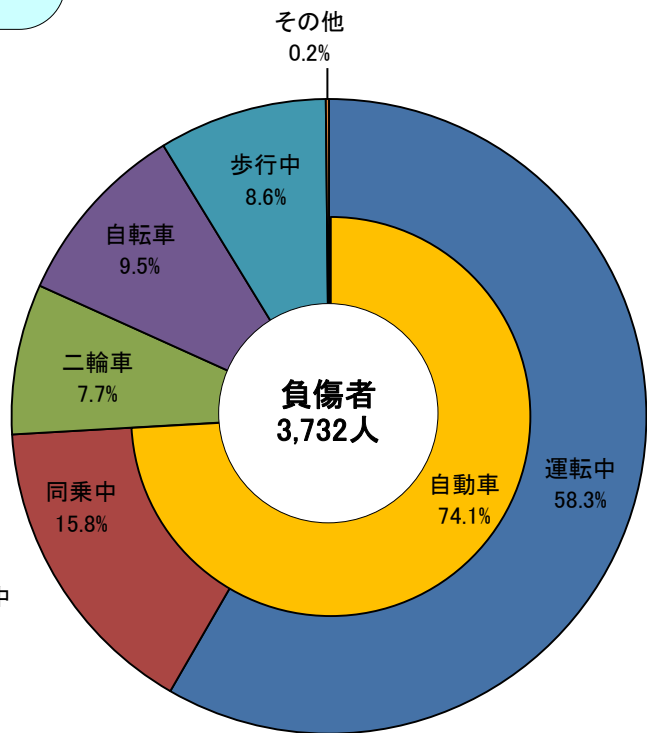
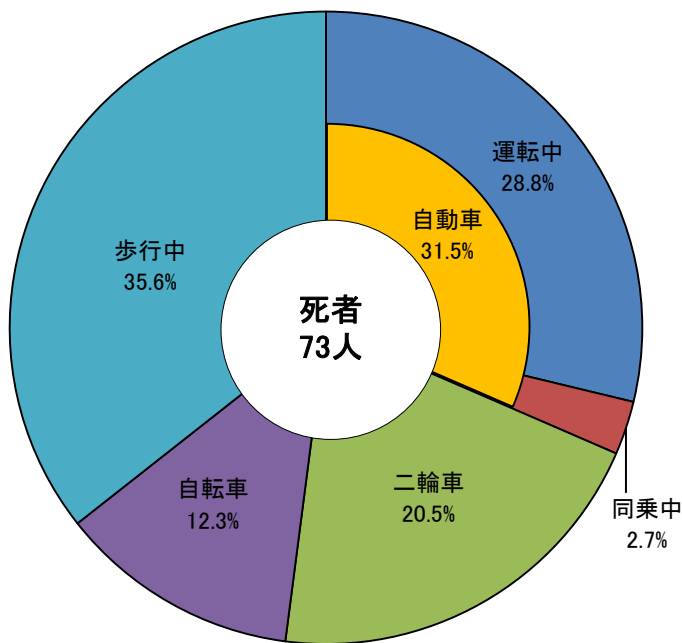
死傷者の状態別

自動車乗車中の負傷者が2,765人(約74%)で最も多い。

自転車乗用中、歩行中の死者が全死者の約48%を占めている。



- 道路を横断するときは、止まって左右の安全を確認してから横断しましょう。
- 近くに横断歩道があるときは、横断歩道を渡りましょう。



区分	運 転 中				同 乗 中				歩 行 中	そ の 他	合 計
	自 動 車	二 輪 車	自 転 車	小 計	自 動 車	二 輪 車	自 転 車	小 計			
死者数	21	14	9	44	2	1	0	3	26	0	73
構成率	28.8	19.2	12.3	60.3	2.7	1.4	0.0	4.1	35.6	0.0	100.0
負傷者数	2,177	282	354	2,813	588	4	1	593	320	6	3,732
構成率	58.3	7.6	9.5	75.4	15.8	0.1	0.0	15.9	8.6	0.2	100.0

15

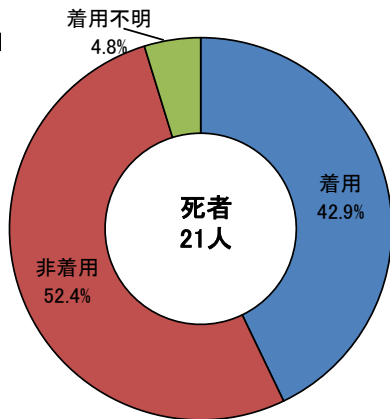
シートベルトの着用状況

死者の着用率は約44%であり、負傷者の着用率の約96%と比べ低い。

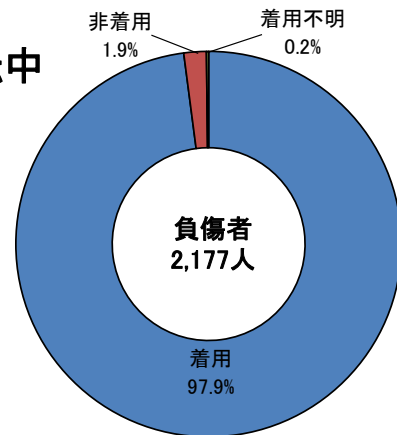
- シートベルト非着用死者12人中10人(83.3%)が、シートベルトを着用していれば助かったと推定されます。
- 後部座席を含め、自動車に乗車するときは全ての座席でシートベルトを確実に着用しましょう。



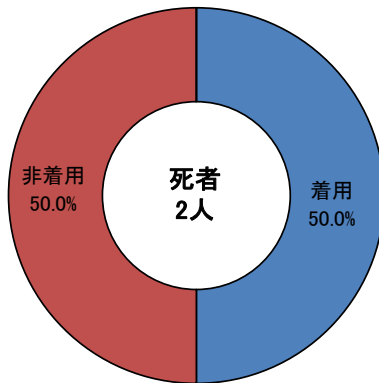
運転中



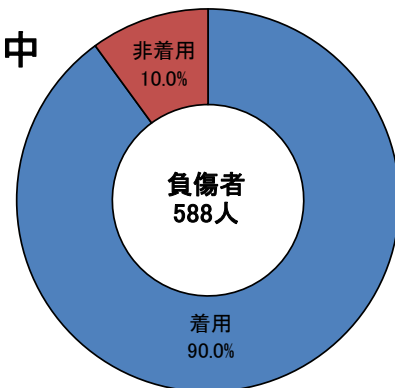
運転中



同乗中



同乗中



区分	自動車														特殊車		合計			
	大型車		中型車		準中型		普通車		軽自動車		ミニカー		小計		運転	同乗	運転	同乗	計	
	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗						
死者数	着用	0	0	0	0	0	0	4	0	5	1	0	0	9	1	0	0	9	1	10
	着用率%	0.0	-	-	-	-	-	80.0	-	35.7	50.0	-	-	42.9	50.0	-	-	42.9	50.0	43.5
	非着用	2	0	0	0	0	0	1	0	8	1	0	0	11	1	0	0	11	1	12
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
計	2	0	0	0	0	0	5	0	14	2	0	0	21	2	0	0	21	2	23	
負傷者数	着用	25	0	24	1	26	7	1,094	335	963	186	0	0	2,132	529	0	0	2,132	529	2,661
	着用率%	96.2	-	92.3	100.0	100.0	100.0	98.2	90.5	98.0	88.6	0.0	-	98.0	90.0	0.0	-	97.9	90.0	96.2
	非着用	1	0	2	0	0	0	20	35	16	24	1	0	40	59	1	0	41	59	100
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	0	0	0	4	0	4
計	26	0	26	1	26	7	1,114	370	983	210	1	0	2,176	588	1	0	2,177	588	2,765	

16

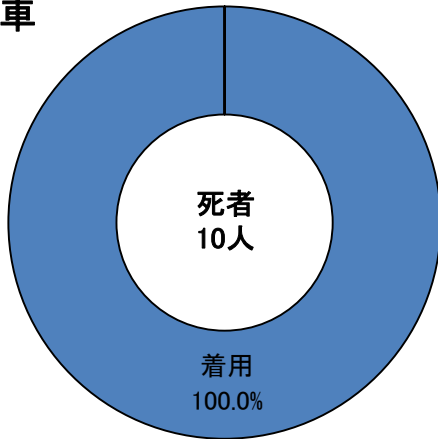
ヘルメットの着用状況(自動二輪車・原付自転車)

死傷者の約1.3%がヘルメットを着用していない。

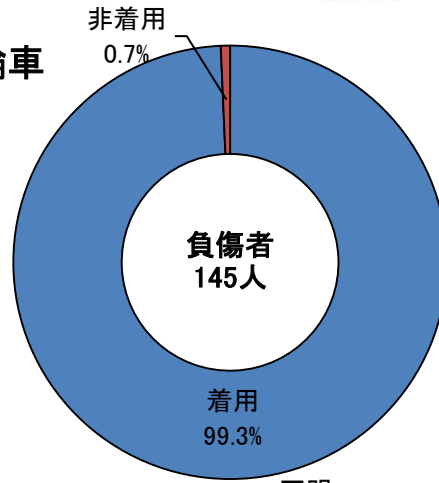
●ヘルメットは、あなたの命を守ります。
正しく着用しましょう。



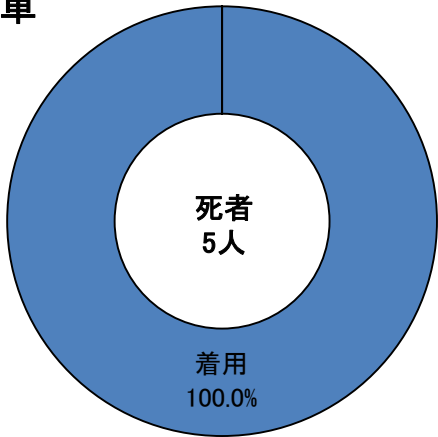
自動二輪車



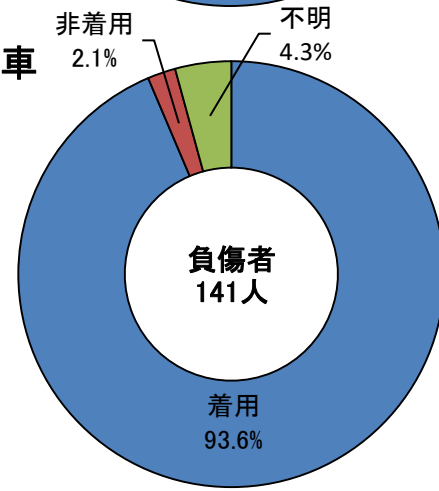
自動二輪車



原付自転車
(50cc)



原付自転車
(50cc)



区分	自動二輪												原付自転車		合計			
	小型二輪						軽二輪		原付二種		小計		運転	同乗	運転	同乗	計	
	751cc以上		401~750cc		251~400cc		126~250cc		51~125cc		小計							
着用	非着用	着用	非着用	着用	非着用	着用	非着用	着用	非着用	着用	非着用	着用	非着用	着用	非着用	着用	非着用	
死者数	着用	6	1	0	0	2	0	1	0	0	0	9	1	5	0	14	1	15
	着用率%	100.0	100.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0
	非着用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	1	0	0	2	0	1	0	0	0	9	1	5	0	14	1	15
負傷者数	着用	32	1	9	0	18	1	38	1	44	0	141	3	132	0	273	3	276
	着用率%	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	97.8	-	99.3	100.0	94.3	0.0	96.8	75.0	96.5
	非着用	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	1	3	1	4
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	0	6
	計	32	1	9	0	18	1	38	1	45	0	142	3	140	1	282	4	286

第 4

各種の交通事故



1

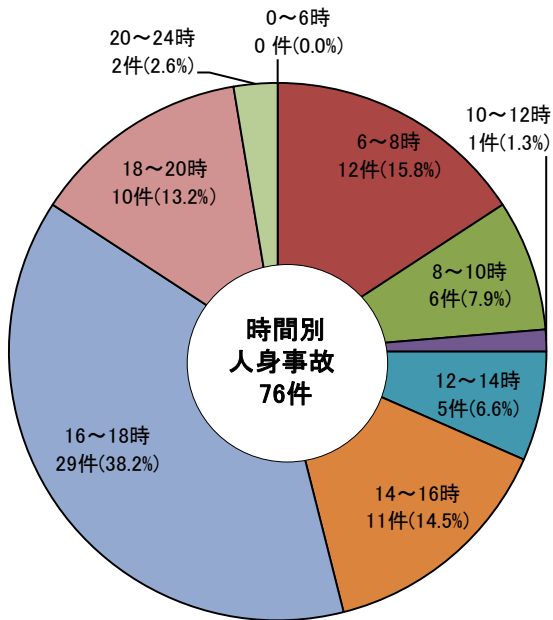
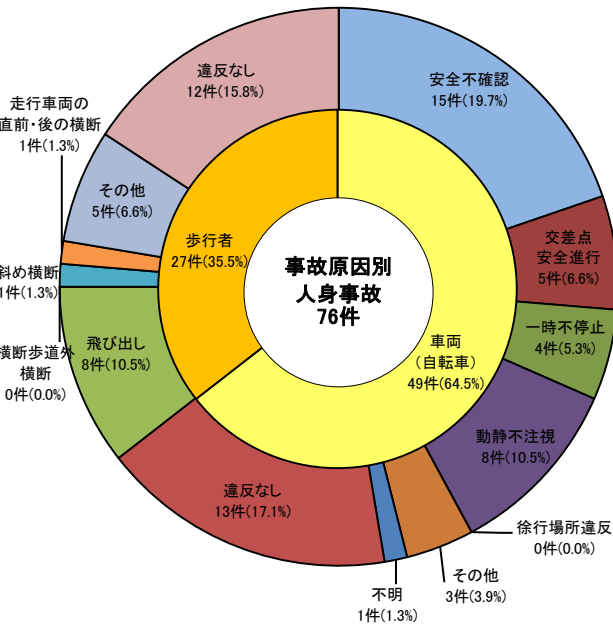
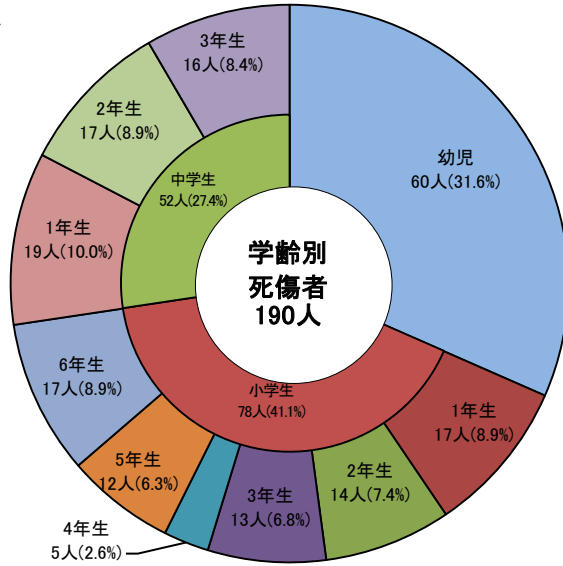
子供の交通事故

(幼児、小・中学生が関与した事故)

小学生の死傷者が子供の死傷者の約41%を占めている。

事故原因別では、自転車は安全不確認、歩行者は飛び出しが最も多い。

- 道路を横断するときは、止まって左右の安全を確認してから横断しましょう。
- 大人が手本となって交通ルールを教えましょう。



※子供同士の事故はなし
※死者はなし。

区分	平成23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年
人身事故(件)	369	365	354	273	215	181	177	128	103	76
死者数	2	3	2	3	1	2	2	0	1	0
負傷者数	859	870	834	661	599	588	459	340	258	190
死傷者率	6.2	6.5	6.4	6.1	6.2	7.1	6.4	5.5	5.4	5.0

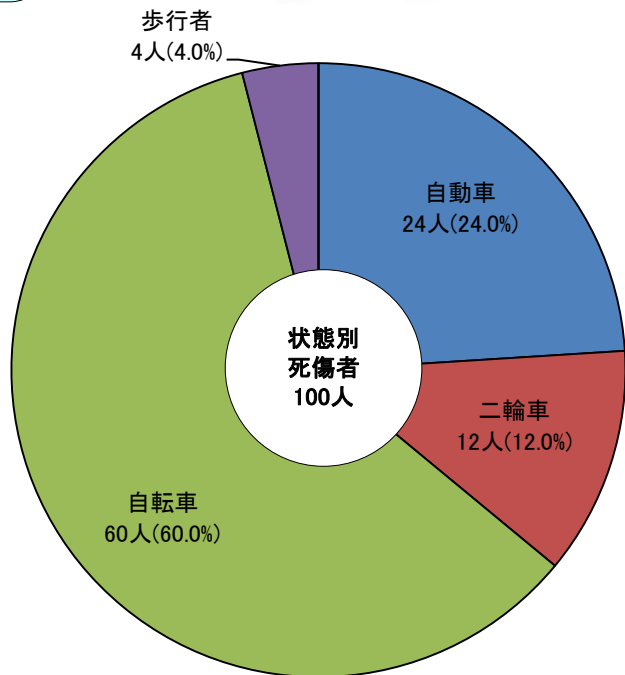
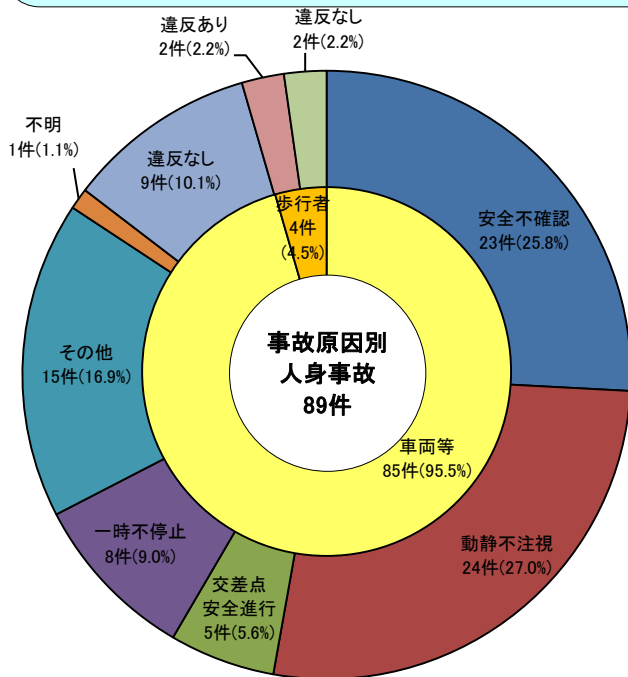
2 高校生の交通事故

自転車乗用中の死傷者が、約60%を占めている。

車両等の事故原因別では、安全不確認や動静不注視が目立っている。



- 自転車乗用中の携帯電話・スマートフォン等の使用はやめましょう。
- 道路を横断する際、交差点を通行する際には確実な安全確認をしましょう。



※高校生同士の事故、1件重複計上

※車両等のうち原付以上による事故は19件、自転車による事故は66件

※死者の内訳は、歩行者1人

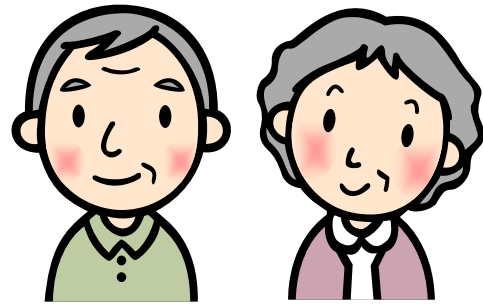
区分	平成23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年
人身事故(件)	261	255	244	211	168	141	144	133	86	88
死者数	1	2	2	1	0	0	1	2	1	1
負傷者数	341	350	313	270	227	210	173	169	118	99
死傷者率	2.5	2.6	2.4	2.5	2.4	2.5	2.4	2.7	2.5	2.6

3 高齢者の交通事故

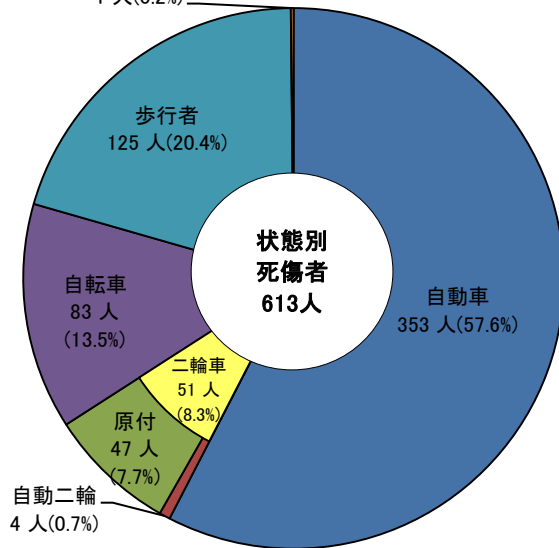
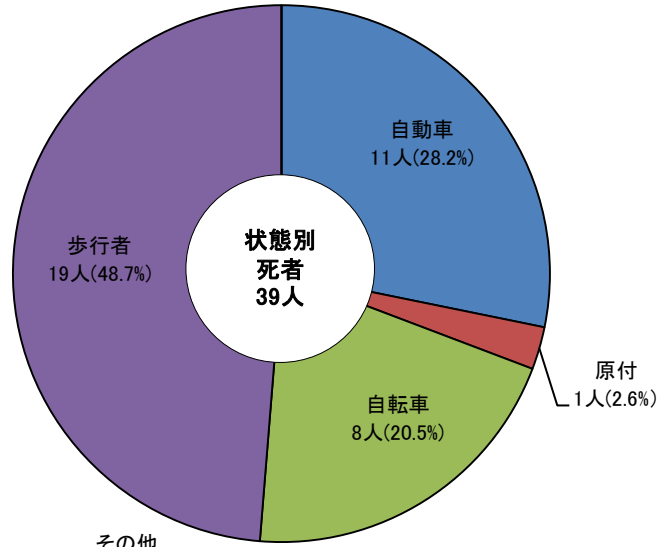
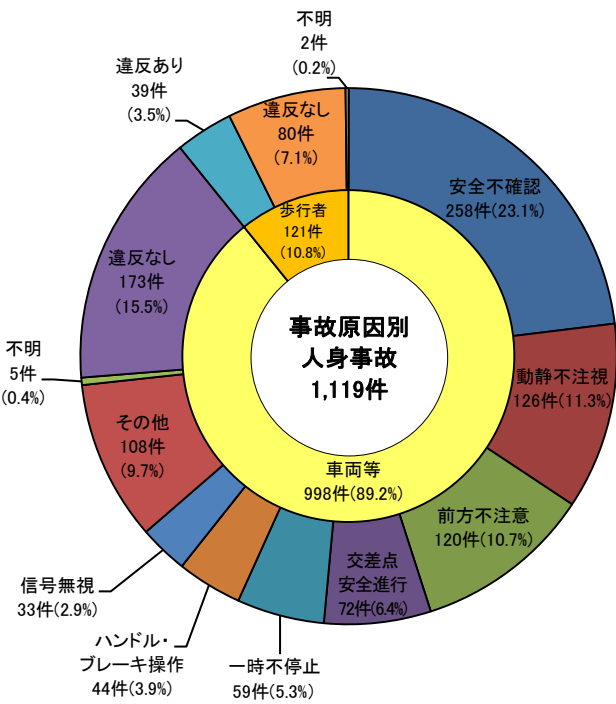
(年齢65歳以上の人が関与した事故)

(1) 全体

状態別死者では、歩行者・自転車乗用中が約69%を占めている。



●体調、天候などは日々、変化するものです。自身の身体機能に合わせて、その時々状況に応じた慎重な交通行動をとりましょう。



※高齢者同士の事故132件を重複計上

※車両等のうち原付以上による事故は914件、自転車による事故は84件

区分	平成23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年
人身事故(件)	2,633	2,731	2,767	2,330	2,151	1,843	1,638	1,509	1,204	987
死者数	53	48	49	57	52	52	37	57	42	39
負傷者数	1,862	1,922	1,892	1,647	1,448	1,224	999	959	755	574
死傷者率	13.8	14.7	15.0	15.7	15.6	15.5	14.4	16.3	16.7	16.1

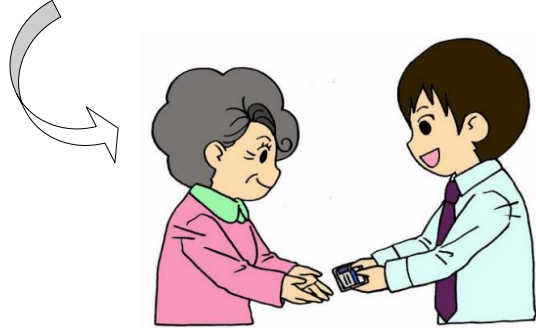
(2)高齢運転者

(年齢65歳以上で原付以上の運転者が第1当事者になった事故)

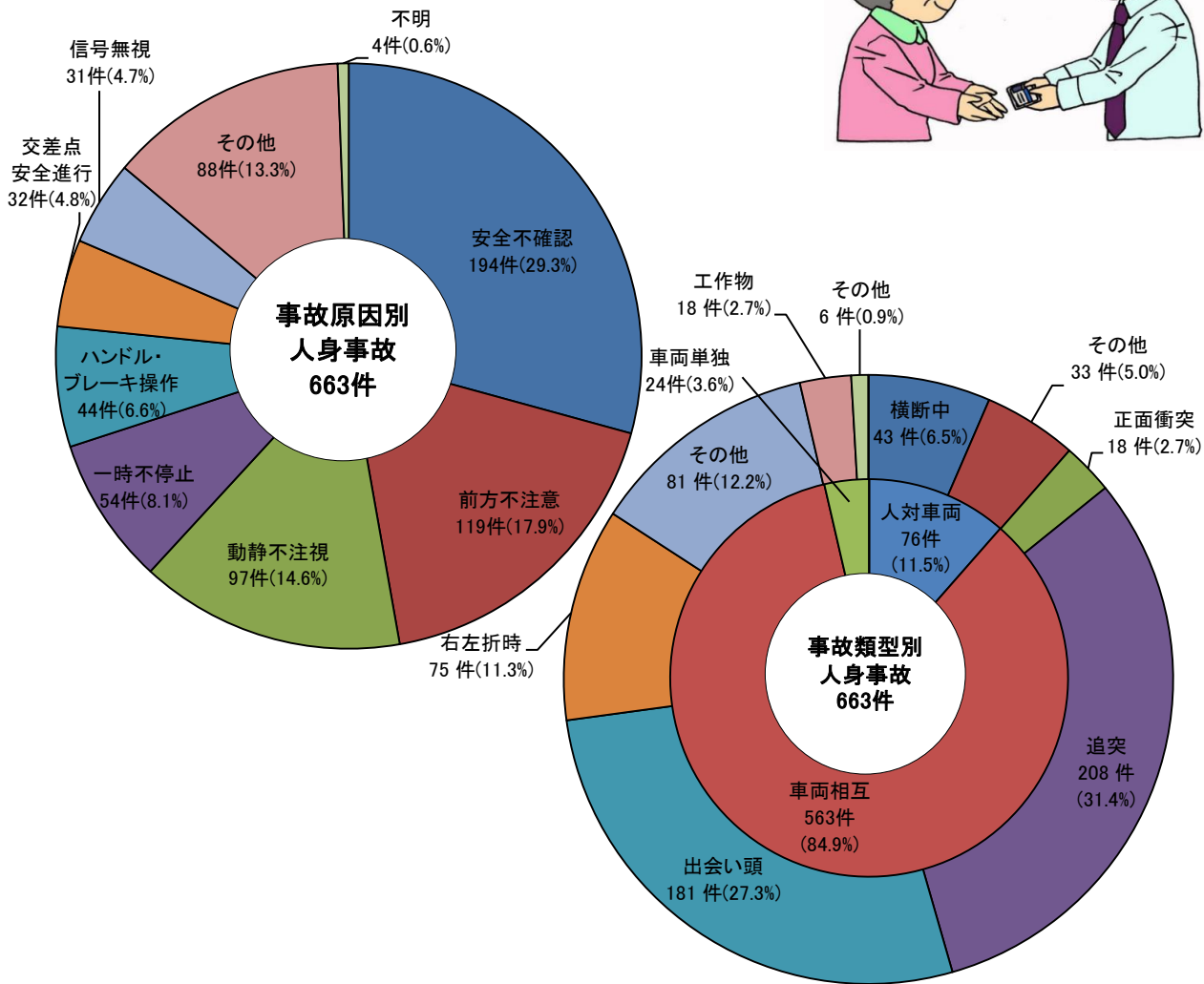
原付以上の運転者が第1当事者になった人身事故の約23%が、死亡事故の約30%が高齢運転者による事故です。



運転に不安を感じたら、免許証の自主返納も1つの方法です。



- 運転中は、常に周囲の状況に注意を払い、安全運転を心掛けましょう。
- 高齢運転者標識を付けた自動車への幅寄せや割り込みはやめましょう。



区分	平成23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年
人身事故(件)	1,618	1,642	1,702	1,416	1,331	1,136	1,041	968	783	663
構成率	16.1	16.9	18.1	18.3	19.4	19.8	20.1	21.5	22.5	23.5
うち死亡事故(件)	20	28	20	20	28	24	10	22	28	20
構成率	25.3	31.5	25.0	22.5	37.8	27.9	14.1	29.7	43.1	29.9

※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める高齢運転者による事故の割合

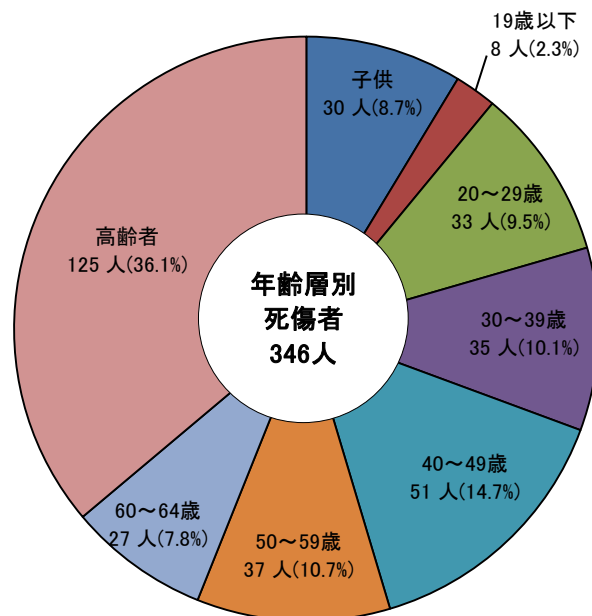
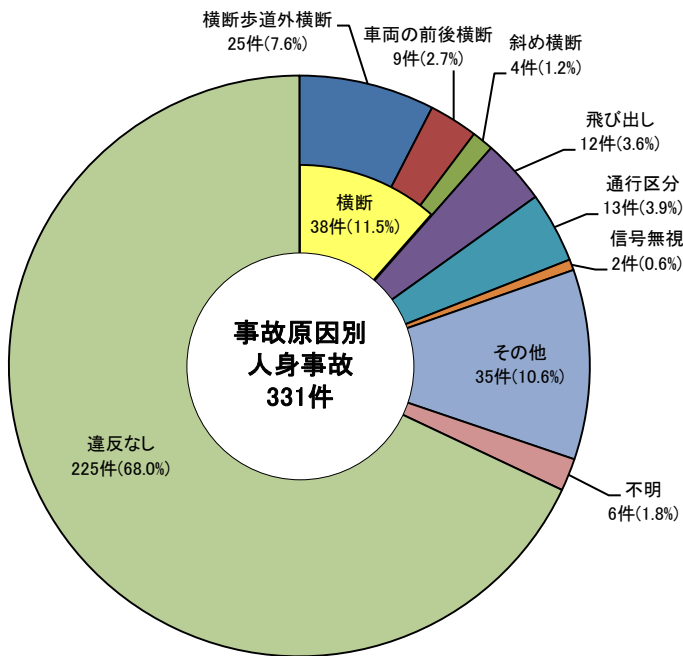
4 歩行者の交通事故

歩行者の約3割に何らかの違反があり、横断に関する違反が38件(11.5%)で最も多い。

年齢層別では、高齢者の死傷者が約36%を占めている。



- 道路を横断するときは、横断歩道を利用しましょう。
- 車のかげからの飛び出しは、危険ですから絶対にやめましょう。
- 夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい服装で反射材用品等を身に着けましょう。



※死者26人の内訳は、19歳以下が1人、20～29歳3人、50～59歳3人、高齢者19人である。

区分	平成23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年
人身事故(件)	677	665	731	592	552	479	486	398	331	331
死者数	28	31	33	36	28	37	26	25	24	26
負傷者数	693	660	733	578	549	467	490	382	329	320
死傷者率	5.2	5.2	5.9	5.7	6.0	6.1	7.2	6.5	7.4	9.1

5

自転車の交通事故

事故原因別では、安全不確認、動静不注視で全体の約49%を占めている。

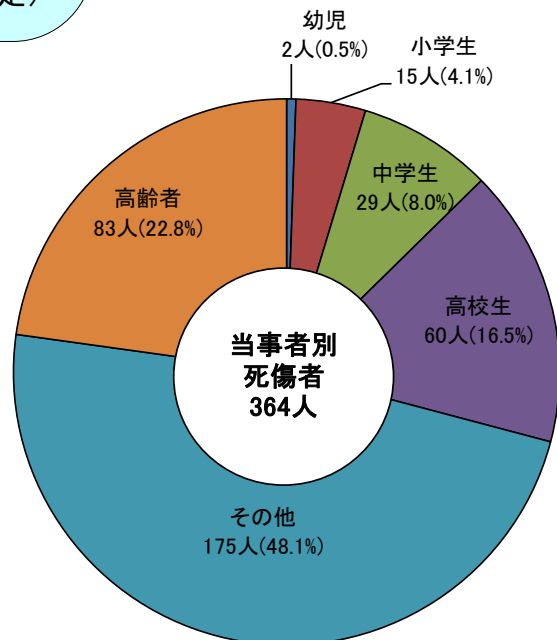
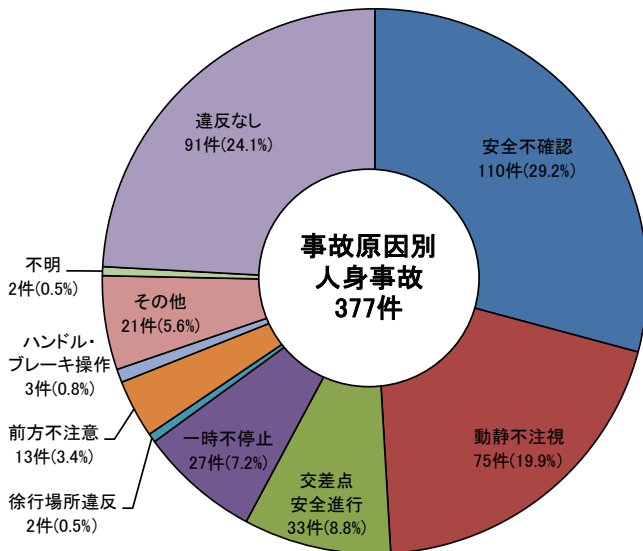
年齢層別では、高校生以下の死傷者が約29%を占めている。



自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用

(平成19年7月10日交通対策本部決定)



※自転車同士の事故5件を重複計上

※ 死者9人の内訳は、高齢者8人、その他1人である。

区分	平成23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年
人身事故(件)	1,224	1,235	1,150	954	750	633	635	531	426	372
死者数	17	8	8	18	12	12	15	14	6	9
負傷者数	1,217	1,238	1,143	939	737	621	613	511	424	355
死傷者率	8.9	9.3	8.9	8.8	7.8	7.7	8.7	8.4	9.0	9.6

6

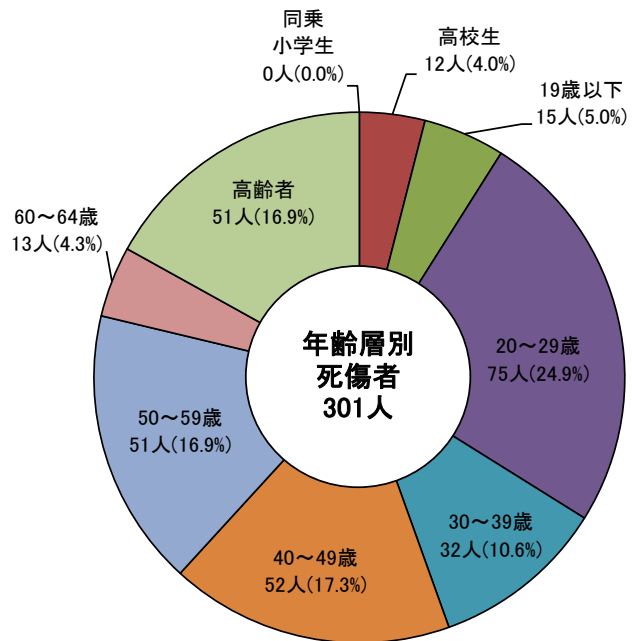
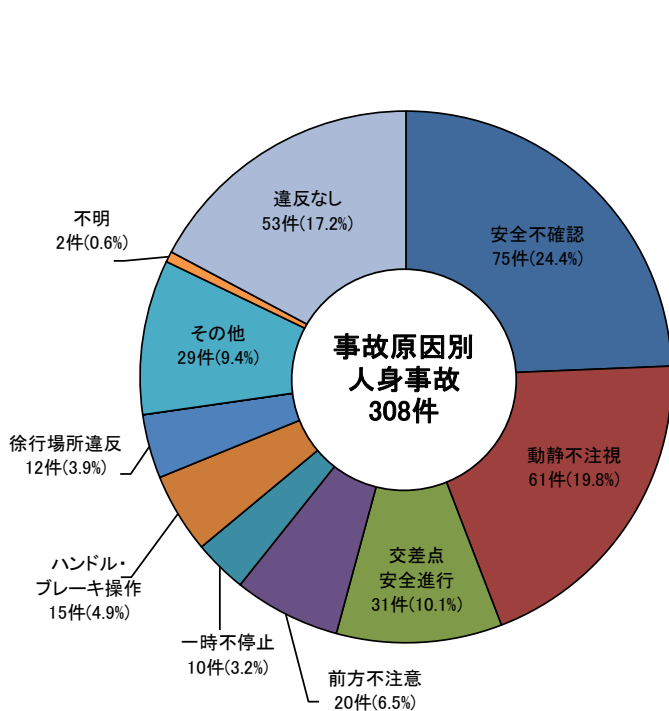
二輪車の交通事故

事故原因別では、安全不確認と動静不注視で全体の約44%を占めている。

年齢層別では、高齢者の死傷者が、約17%を占めている。



- 一時停止の交通規制が実施されているところでは、必ず一時停止して、左右の安全を確認しましょう。
- 二輪車を運転するときは、正しい乗車姿勢を保ち、ヘルメットを正しく着用するとともに、プロテクターを着用しましょう。



※ 二輪車同士の事故1件を重複計上
 ※ 無免許は4件

※ 死者15人の内訳は、19歳以下1人、20～29歳5人、30～39歳1人、40～49歳4人、50～59歳3人、高齢者1人である。

区分	平成23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年
人身事故(件)	1,168	1,076	1,005	829	687	629	477	446	328	307
死者数	14	22	14	20	15	17	10	13	16	15
負傷者数	1,111	1,015	950	777	655	594	449	409	287	286
死傷者率	8.1	7.7	7.4	7.4	7.0	7.4	6.4	6.8	6.4	7.9

7

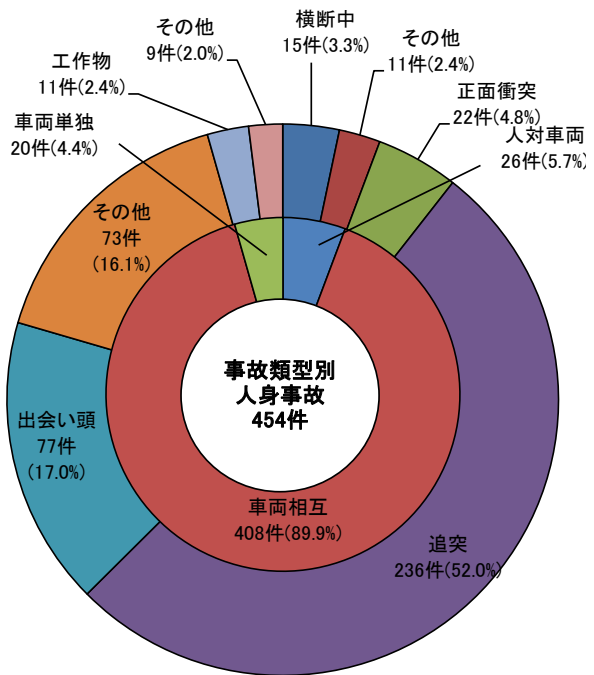
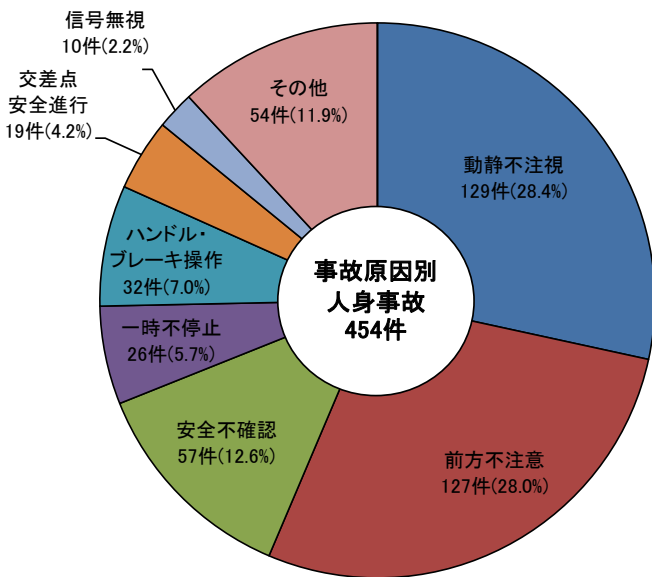
若年運転者の交通事故

(年齢16～24歳の原付以上の運転者が第1当事者となった事故)

人身事故の事故原因別では、動静不注視、前方不注意、安全不確認で全体の約69%を占め、事故類型別では、追突が約52%を占めている。



- 速度が速いほど、停止距離が長く、衝突時の衝撃が大きくなります。安全な速度で運転しましょう。
- 交通ルールを遵守して、常に周囲の状況に注意を払いましょう。



区分	平成23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年
人身事故(件)	1,719	1,669	1,563	1,294	1,155	977	850	741	567	454
構成率	17.2	17.2	16.7	16.7	16.9	17.0	16.4	16.5	16.3	16.1
うち死亡事故(件)	7	12	7	11	6	9	9	11	1	11
構成率	8.9	13.5	8.8	12.4	8.1	10.5	12.7	14.9	1.5	16.4

※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める若年運転者による事故の割合

8

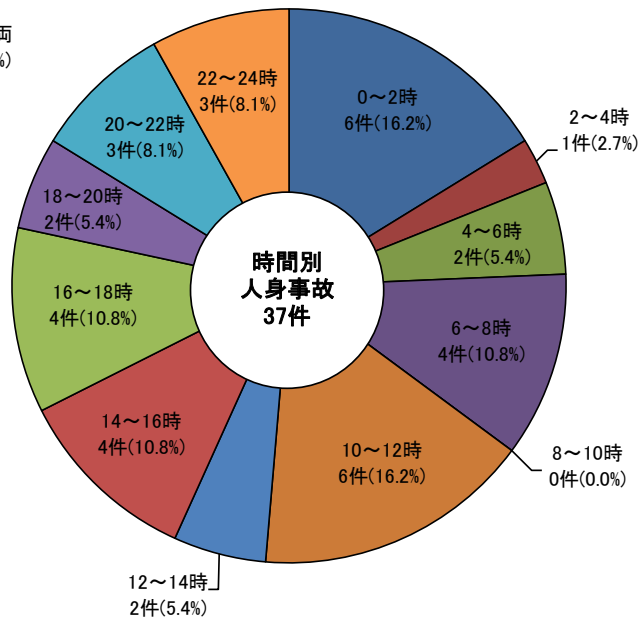
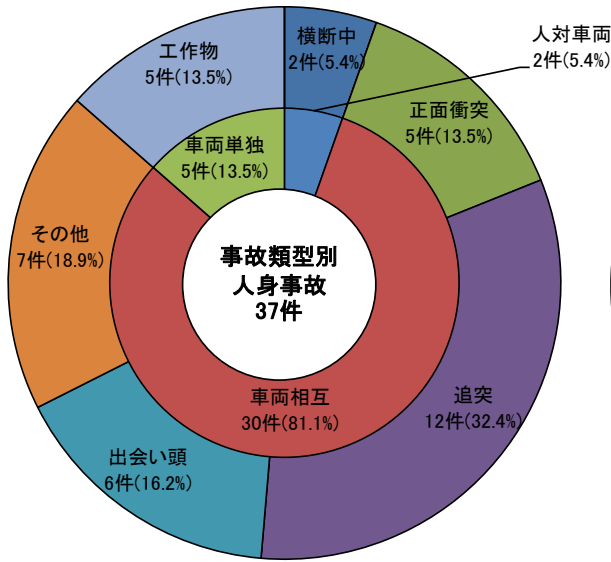
飲酒運転の交通事故

(原付以上の運転者が、飲酒運転をして第1当事者となった事故)

飲酒運転の人身事故は、事故類型別では追突が約32%を占め、時間別では0時～2時及び10時～12時の発生が約16%と多い。



- アルコールの影響で適切な判断や運転操作ができず、事故を引き起こす危険性が高くなります。
- 一人一人が、飲酒運転は絶対に「しない」「させない」「許さない」ことを徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。



※死亡事故の内訳は、人対車両1件、車両相互1件、車両単独3件である。

※死亡事故は、0～2時に2件、6～8時に1件、10～12時に1件、20～22時に1件発生している。

区分	平成23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年
人身事故(件)	66	73	63	55	44	36	34	42	36	37
構成率	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7	0.9	1.0	1.3
うち死亡事故(件)	6	4	3	9	1	1	5	3	2	5
構成率	7.6	4.5	3.8	10.1	1.4	1.2	7.0	4.1	3.1	7.5

※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める飲酒運転者による事故の割合

■車両の事故原因

- ◇信号無視信号機の設けられている交差点で、赤又は黄色信号等を見逃して交差点に進入して事故を起こした場合等をいう。
- ◇通行区分センターラインを超えて、対向車線に進入して対向車と正面衝突した場合等をいう。
- ◇追い越し追い越し禁止場所や無理な追い越しをして、対向車等と衝突した場合をいう。
- ◇最高速度法定(指定)速度を超えて走行したため、歩行者の発見が遅れて衝突したり、カーブ路を曲がれなかったために事故を起こした場合等をいう。
- ◇歩行者妨害等横断歩道を横断中の歩行者や自転車横断帯を横断中の自転車の発見が遅れたために衝突した場合等をいう。
- ◇一時不停止一時停止の標識・道路標示のある交差点で、一時停止することなく、交差点に進入したために交差道路から走行してきた車両と衝突した場合等をいう。
- ◇酒酔い飲酒により正常な運転ができない状態で、車両を運転したために事故を起こした場合をいう。
- ◇右・左折右・左折禁止場所で右・左折をしたために事故を起こしたり、原付の二段階右折をしなかったために事故を起こした場合等をいう。
- ◇優先通行妨害交差点で右折する時に直進車両と衝突したり、明らかに優先道路を走行している車両と衝突した場合等をいう。
- ◇交差点安全進行交差点で、交差道路から走行してきた車両に特に注意しなかったために衝突したり、反対方向からの右折車両に特に注意しなかったために衝突した場合等をいう。
- ◇徐行場所左右の見とおしの悪い交差点や急な道路の曲がりかど付近等で減速徐行しなかったために交差道路から走行してきた車両や対向車と衝突した場合等をいう。
- ◇ハンドル・ブレーキ操作カーブ路等で急ハンドルを切ったためにガードレールに衝突したり、急ブレーキを踏んだためにスリップして前車に追突した場合等をいう。
- ◇前方不注意考え事やぼんやりしていたり、脇見をしていたために前を良く見ていなかったために停止した前車に気づくのが遅れ追突した場合をいう。
- ◇動静不注視相手(車両・歩行者)の動きを良く見ていなかったために、相手の動きに対応できずに衝突した場合等をいう。
- ◇安全不確認前方・左右・後方に対する安全確認を怠ったために衝突した場合等をいう。
- ◇安全速度カーブ路等で道路状況・環境に応じた速度で走行しなかったために路外へ逸脱したり、飛び出した歩行者と衝突した場合等をいう。

■歩行者の事故原因

- ◇飛び出し安全を確認しないで路上に飛び出したために、車両等と衝突した場合をいう。
- ◇車両の前後横断駐車車両の直前・直後から横断したり、走行車両の直前・直後から横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇横断歩道外横断横断歩道が付近にある場所で横断歩道を利用せずに横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇横断禁止場所横断道路標識又は道路標示により横断が禁止されている道路で横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇幼児のひとり歩き児童等(13歳未満)が保護者を伴わずに一人歩きをしていたために、車両等と衝突した場合をいう。
- ◇めいてい・はいかい道路において、酒に酔ってふらついたり、寝そべり等の交通妨害をしていたために車両等と衝突した場合をいう。